

九州中央病院の乳腺外科部長が ナグモクリニック福岡へ

日本屈指の乳がんの専門医である北村 薫先生が、昨年10月、九州中央病院よりナグモクリニック福岡院長に就任。その理由とは……？
北村先生が目指す理想の医療に迫りました。



乳腺外科医の北村院長をはじめ、形成外科医、放射線技師までスタッフは全員女性で、リンパ浮腫治療の専門ナースも常駐する。

福岡院長 **北村 薫 先生**
日本乳癌学会乳腺専門医／医学博士

佐賀医科大学医学部卒業。九州大学第二外科を経て、米国フィラデルフィア ハーネマン医科大学へ留学。帰国後は九州大学講師、九州中央病院 乳腺外科部長・同病院副院長を歴任。現在、カリフォルニア大学サンディエゴ校客員教授、一般社団法人リンパ浮腫指導技能者養成協会理事長。



最先端のデジタルマンモグラフィー
触診や超音波検査でも見つけることのできない、早期の乳がんを発見することができます。

女性にとってかけがえのないバストは、たとえ命のためでも失いたくないのが本音。しかし日本の現状は、命さえ助かればいだろう主義で、見た目の美しさはおろそかにされがち。北村先生はそこに反旗を翻した女性ドクターだ。「かつて大病院に勤務していた頃、よく乳がん患者さんから『バストを残せる？ 傷はどのくらい？』と質問されていたんです。男性医師ではなく、私だけにそつと尋ねてくる患者さんの姿を見ていて、同性だからその力になれることがあるのかもしれない。そう感じたのが、できるだけ傷を残さない乳がんの手術や、美しいバストを取り戻す乳房再建を始めるきっかけになりました」

バストに傷が残らない
乳がん治療を目指して

一生つき合っていく
バストだから美しく

多くの乳がん患者との出逢いをきっかけに、北村先生は新しい手術法を次々と開発していく。そのひとつが、ワキの下の小さな切開口から乳腺の腫瘍を取り除く内視鏡手術だ。この方法は、アメリカ国際内視鏡外科学会（SLS）と日本内視鏡外科学会で最優秀賞を受賞。以来、全国から北村先生の医療を求めてこ福岡に患者が訪れている。では北村先生が、九州中央病院からナグモクリニック福岡へ移った理由は？

「総合病院では、何か新しいことを始めるのに時間がかかりますよね。いい治療法があっても、患者さんをお待たせしなければならぬ。その点、ナグモクリニックの南雲総院長とは価値観が同じですから、患者さんに有益なことを素早く始められます。実は南雲総院長のところへは、乳がん患者さんに乳房再建をするために、豊胸術を習いに通ったりしていました」

ナグモクリニックで乳がんの手術をしているのを知っている人は意外と少ないが、すでに多くの実績がある。

「全国平均より温存療法が多く、それが叶わなくとも傷を目立たせない乳がん手術と同時に、美しく再建します。バストがなくなることを一番避けられるクリニックです」

●乳腺外科 ●美容・形成外科
ナグモクリニック
福岡・東京・名古屋・大阪



福岡市中央区大名 2-8-1
肥後天神宝ビル 7F
地下鉄天神駅より徒歩 1分
☎0120-92-2608
9:30～18:00 (完全予約制)
日曜日休診
<http://www.nagumo.or.jp>

新診療
続々登場

ナグモクリニックの ドクター陣が総力を結集して開発

- 1 培養脂肪移植による豊胸術・乳房再建**
これまで難しかった脂肪の生着率が飛躍的にアップ。
特別価格 片胸 1回 35万円
- 2 エコーガイド下 低吸収ヒアルロン酸注入法**
しこりを作らず柔らかく、形も自然でとても長持ち！
1cc 3,000円 (施術料 10万円)
- 3 自家組織による乳房再建**
自分の組織で乳房を再建。
保険診療

総院長
からのご挨拶

ナグモクリニック福岡は 「レディースクリニック」 として生まれ変わります

豊胸術や陥没乳頭形成術などの「バストの美容手術」は従来のまま。新たに北村院長を中心とした「乳腺外科（良性・悪性腫瘍から乳がん、リンパ浮腫まで）」を加え、ナグモクリニック福岡は新体制で「レディースクリニック」として生まれ変わります。これからますます先進の医療を目指し、バストの美容・健康・機能を総合的に、生涯にわたってお守りすることをお約束します。新診療も開発していきますので、ぜひご注目ください。



なくも よしりの
総院長 **南雲 吉則 先生**
東京慈恵医科大学卒業。医学博士。東京慈恵医科大学講師・近畿大学形成外科講師。韓国東亜医科大学客員教授・中国大連医科大学客員教授。バスト専門の美容外科医であるとともに、日本乳癌学会の乳腺専門医として乳がんの分野でも活躍。